

# 市民主体の まちづくりの可能性

小平をもっと暮らしやすいまちにするために、市民が主体となることができる様々な手法を学びます。

## 講座の内容と開催スケジュール

### 第1回 10月9日(土)午後2時~4時 視覚情報から見出す小平のまちづくり

市民活動のなかで、玉川上水、用水路や短冊形の地割など小平の特徴としての歴史や景観を、まちづくりに反映させるために、パターン・ランゲージやヴィジュアルランゲージを使った調査と開発の方法を学びます。

講師：照井 亮 [KDDI 総合研究所] 場所：小平市中央公民館 視聴覚室

### 第2回 10月23日(土)午後2時~4時 『熟議民主主義』による一步進んだ市民参加

無作為抽出の市民が、事実を多角的に集中的に学んで議論を深めて、最終日に参加した市民が各項目に重みづけをした市民鑑定書を提出する。行政はこれをもってまちづくりの方針を決めるドイツでの実際の事例"プラーヌクスツェレ (PZ)" を学びます。

講師：福地 健治 [早稲田大学大学院社会科学研究科博士後期課程] 場所：小平市中央公民館 視聴覚室

### 第3回 11月20日(土)午後2時~4時 『市民が主体のまちづくりとは?』国分寺市の今

のべ1000人の市民が参加した「まちづくりサロン」を経て策定された「まちづくり条例」から「まちのデザインセンター」、「こくぶんじカレッジ」の設立まで、「市民が主体のまちづくり」を模索する、お隣のまち国分寺市のこれまでと現状を担当課の方から伺います。

講師：国分寺市まちづくり推進課 職員 場所：小平市中央公民館 視聴覚室

### 第4回 11月28日(日)午後2時~4時 COVID-19 に対応したスマートシティ化

新型コロナウイルス感染症対策の対応として、スマートシティ化の流れは加速します。プライバシーへの配慮、住民合意を得ながらすすめていくスマートシティ化について、事例を交えて学びます。

講師：小泉 秀樹 [東京大学先端科学技術研究センター 教授] 場所：小平市中央公民館 視聴覚室

### 第5回 12月11日(土)午後2時~4時 住民主体のまちづくりの方法論

「ワークショップは決して合意形成を目的とした方法ではない。特段新しいものではなく、人類の知として蓄積されてきた集団の力を発揮する方法である。」ワークショップは道具であり、道具の特性を知り、理論を整理し、事例を紹介して頂きます。

講師：木下 勇 [大妻女子大学社会情報学部 教授] 場所：小平市中央公民館 学習室4

参加申込はホームページから

「わたしたちのまちのつくり方」で検索  
HP: <http://watashimachi.main.jp/>



企画・運営：わたしたちのまちのつくり方

